



オフショット ギャラリー

Offshot Gallery



こんな働き方もあるんだって…。
見たことのない世界が近づいてきてる？



リアルに働いている人たちの本音…
教科書には載っていないことばかり。



働き方も生き方もそれぞれ。
どんな未来を描くべきなのか…悶々。



やっぱり、仕事をしていても
楽しい人生も大事と教えてくれました。



👉 本音を聞いて面白く、
人と出会って経験を積むのと一緒にかも。

interview 11

京三電機

中山 久美子さんの場合

茨城県出身 / 1995年入社



WORK

Q 座右の銘は？
「なんくるないさ」

何事もポジティブシンキングで考えます。

Q 憧れの人物は？
人事課 担当課長 西島さん

女性活躍の第一人者です。ご苦労も多いでしょうけど、そういう(第一線を走る)方が前にいらっしゃることは大きいです。

Q 仕事への姿勢
チームワーク

部署間などのバランスを取りつつ、周りの人と協力しながらものごとを進めるようにしています。

Q 働く女性へメッセージをお願いします！
目標を見つけて

ご褒美があると、頑張ろうと思えます。大変なこともありますけど、働く喜びを見つければ、頑張っていきたいと思います！

LIFE

Q 元気をつけたときの
食事は？
外食をする

家族との外食。家事から離れておいしいものを食べられるのが良いですね。

Q リフレッシュ方法は？
仕事を切り離す

仕事から離れる時間を作ること。テレビを見たり、旅行をしたり、おいしいものを食べたりします。

Q 仕事と子育てを
両立するための工夫は？
手を抜けるところは抜く

手抜きできるところは抜いたり、誰かをお願いしたり要領よくやること。全部完璧にやろうとすると疲れてしまいます。



休日は

家族で旅行など!

「趣味は海外旅行」と話す中山さん。家族でカナダへ旅行するなど満喫!また家飲みではヘルシービールをたしなむことも。

interview 12

ホテル山水 半田 真樹子さんの場合

茨城県出身 / 1999年入社



WORK

Q 地元の企業に就職して
よかったことは？

古河市のPRができること
東京から電車で1時間という場所。出身地に就職し、地元密着。フロントという業務で、街のいいところをお伝えしています。

Q 上司でもある
女将さんとの関係は？
影響を受けています

「長いこと一緒にいるので、わたしの長所も短所も知っている」と女将の高橋さん。チームワークも抜群です。

Q 趣味が仕事に
活かされたことは？

書くことの大切さ
書道を経験したことで年賀状を書く際も手書きの方が、温かみを感じられることから手書きで書くようにしています。

Q 働く女性の人物像を聞かせてください
挑戦する心をもって!

挑戦してほしい、すぐ諦めないことを伝えたい。諦めるより、努力をすることで様々な可能性が出てくると思います。

LIFE

Q 書道の腕前は？
準師範

入社して1・2年目ぐらいからやり始めました!字を書いているとリフレッシュできます。

Q 華道はいつから
はじめたのですか？
入社2年目

女将さんの後押しではじめました!草月流のいけばなにも通っています。

Q これから挑戦して
みたいことは？

茶道や着付け
いけばなのために陶芸で花きを作ることもある女将さん、なんでもやっている経験豊富なので教わりたいです。



休日は

習字や歌舞伎

華道はもちろん趣味である習字や歌舞伎、日本の「和」に通ずるものに触れる時間を作っています。

WORK

Q 働いていて他の企業にはないことはありますか？

お客様との距離感

来店するお客様に顔を覚えてもらえること。様々なコミュニケーションがとれて、仕事の励みになります。

Q 仕事のコツは？

時間と集中

今日は何時まで働き、何時までにこの仕事を終わらせるということを頭に入れておくことが大切です。

Q お客様から想定外の注文を受けた時の対応方法は？

相談

自分ではわからなく対応できない場合は速やかに周りのスタッフや店長に相談します。

Q 海外のお客様への対応は？

一生懸命身振り手振りで対応

店内に言葉が話せるスタッフがいた場合はその人をお願いします。また、困っていることを筆談でも対応します。

LIFE

Q 趣味はありますか？

色々

趣味といえるものはありませんが休みの日はウインドウショッピングをします。

Q 旦那さんとどのように過ごしていますか？

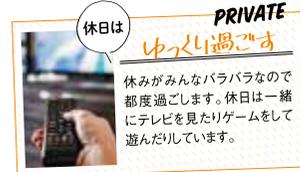
少しでも貴重に

休みの日が被らないのでたまに晩酌したりすることが小さな幸せです。

Q 日々の暮らしで大切にしていることは？

食の時間

普段忙しく過ごしていますが、朝も夜も子供と一緒にご飯を食べるということは大切にしています。



休日は

プライベート
ゆっくり過ごす

休みがみんなバラバラなので都度過ごします。休日は一緒にテレビを見たりゲームをして遊んだりしています。

interview 13

山崎 真弓さんの場合

茨城県出身 / 2005年入社



業界によって、体制も環境も異なる。答えはひとつだけじゃないからね。

オフショット ギャラリー

Offshot Gallery



大学の講義よりも濃密で…。けど、ちょっと社会に近づいた気がする。



取材させていただいたメンバーが全員女性だと、「なるほど」と共感高し!



会話をするうちに、相手も笑顔になってくれるととてもうれしい!



とてもフランクに話をしてくれる会社のみなさんに本当に感謝です。



interview 14

桂不動産 永野 奈美さんの場合

愛媛県出身 / 2017年入社



Q 仕事上での人間関係は
どう築いていますか？

ムードメーカーをアシスト!

周りを見ることで雰囲気を感じ取るのが得意。苦手な方でも対話して自分から理解する姿勢です。

Q 女性ならではの
強みはありますか？

心配りと同時進行

接客においてはさき細やかな対応が大事! あわせて、効率を目指した仕事の運び方がよくできると思います。

Q 仕事と家庭、上手に
両立できる秘訣は何ですか？

心持ちの工夫が大切

心持ちの工夫が大切だと思います。仕事は仲間を、家では夫や周りを頼って協力してもらう事が大切です!

Q 就活生へのアドバイスをお願いします
たくさんの経験を!

「遊んで、今しかできないような経験を大切にしてください。知識は後から付けられますから」

WORK

Q 今後の目標などは
ありますか？

心のバランスを上手に

忙しいとつい怒りっぽくなってしまい…会社にも慣れてきたので、一呼吸してイライラしないように過ごしたい。

Q 子供ができて変わったことは
何かありますか？

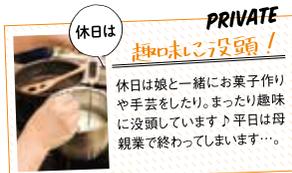
気持ちに余裕ができた

子どもが生まれる前は割と短気でした。けど、生まれてからは、自分主体から周りが主体へと変化しました(笑)

Q ストレスはどう
発散していますか？

ものづくりで発散!

フェルトの人形を作ったりお菓子を作ったり、趣味に上手に没頭しています。特にお菓子作りは自分のストレス発散!



休日は

プライベート
趣味に没頭!

休日は娘と一緒に菓子作りや手芸をしたり。まったく趣味に没頭しています! 平日は母親業で終わってしまいます…



オフショット ギャラリー

Offshot Gallery



インタビューで聞きたかったこと
事前に用意していたよかったです話広がる。



楽しそうに、仕事をしている女性は
やっぱりイキイキ、キラキラしています。



思わずつられて笑顔になる!
話を聞くことってとても重要です。



話を聞きながらメモをするけど
あとから文にするから読みやすくないと。



相手の目を見て、しっかり聞く。
こんなに集中するのは滅多にない...

WORK

Q 仕事のやりがいは
なんですか?

頼られると嬉しい

「何かあった時は尾崎さんに相談したい」と
言ってもらえたりすると、次のお仕事の活
力になりますね。

Q 職業を選択する時の
ポイントは?

やりたいことが第一

挑戦することは大事です。「絶対無理」と
いうことはないので、興味があったらぜひ飛
び込んでみてください。

Q 仕事を始める前と後で
感じたギャップは?

見えない仕事に四苦八苦

窓口業務に憧れがありました。が、いざ仕
事を始めシャッターが閉まってからの業務
が多いことに驚きました。

Q エリア総合職へ転換する時の
家族の反応は?

一緒に悩み、応援してくれた

営業職で不安だった時に「どうせなら挑戦してみなよ」
とひと言。その後のコース転換も応援してくれました。

LIFE

Q 日々のリフレッシュ
方法を教えてください!

カラダを癒す

娘がピアノのお稽古をしている間に、近く
のマッサージ屋さんに行っているのんびりする
ことです(笑)

Q 子育てのサポートについて
聞かせてください

家族のサポート

娘が風邪を引いた時や帰りが遅くなった日
は、実家の母が協力してくれます。家族の
支えは大きいですね。

Q 習慣で行っていることは
ありますか?

仕事の勉強

何もしないでいると心配になり…。休みの日
は、娘が「勉強頑張る!」と言う日には一緒
に頑張っています。



休日は

子どもとの時間

平日の夜は家事や娘の世話
で手一杯。その分週末は子供
との時間を大切に。いつもより
豪華なご飯を作ったり、お出か
けしたりしています。

interview 15

筑波銀行 尾崎 裕子さん の場合

茨城県出身 / 2003年入社



interview 16

東京フード 宮越 七奈さん の場合

茨城県出身 / 2006年入社



WORK

Q 長く仕事を
続けられる理由は?

仲間がいるから頑張れる

応援してくれる上司や話を聞いてくれる仲
間のおかげで、仕事もとても楽しいです。

Q 自分がしんどいなと思ったことを
どう乗り越えてきましたか?

心を「前向き」に変える

何をやってもうまくいかなかった頃、少しで
も役に立つならと続けていたことを、見てく
れている方がいて前向きになりました。

Q キャリアステップの方法は?
**Challenge Change
Communication**

当社には3つのCに基づいた社内年次研
修があります。そこで目標を立て、実践します。
(例)3年…自分の仕事を見直す
5年…ジョブローテーションで仕事の幅を広げる。

Q 女en会の醍醐味は?

新しい価値観の発見

これまで話をしたこともない別部門の先輩
や仲間とコミュニケーションをとって、意見
交換ができたことです。

LIFE

Q 好きな
チョコレートは?

クーベルチュールオーレ

東京フード最高級のチョコレート。産休に
入る前は、このチョコレートを使って、よくお
菓子を作って食べていました。

Q 旦那さんは
どのような方ですか?

心強い味方です

料理もできて、家事や育児にとでも協力的!
わたしが復職するときや子連れ出勤の
チャレンジも応援してくれました。

Q 宮越さんの
チャームポイントは?

誰でも仲良くなれる

「コミュニケーション能力が高い」と人事担
当の藤田さん。人とのかわわりを大切にしてい
て、笑顔もステキです。



休日は

家族と過ごす

子どもが遊べる場所へ行っ
たりして、夫婦の協力で子守を
しています。たまに、ランチ会へ
参加してみたり。

WORK

Q 株式会社リーゾの
ねらいとは何ですか？

環境と社会を守ること

従来にない研究を重ね、人々や自然環境を助ける「地球のお医者さん」になるのと同時に、同じ研究職の課題を解決したい。

Q 今後の目標を
教えてください。

日々の充実

「成功」を毎日続けることや、お客様と社員が「リーゾと関わることで良くなった」と思えるような会社にしたいです。

Q 就活生へのアドバイス
をお願いします。

「打算」で選ばないで！

安定や流行で選んでほしくないです。本当に自分がやりたい道に進み、選んだ道に責任を持った生き方をしてほしい。

Q 研究のなかで活かしている
主婦の知恵は？

創意工夫

研究で使用する道具を全てそろえるのは難しいので、なじみのある日用品をアレンジして使用しています。

LIFE

Q 好きな
言葉は？

「わくわく感」

新しい世界やまだ見たことのないものを試行錯誤しながら見に行く、といったような感覚で、私の原動力です。

Q 休日は
どんなことをしていますか？

買物、掃除が週末の習慣

図書館に行くのも好きですが、無意識に仕事に関する経営関係の書籍を手にしてしまうことも…。

Q 平日の夜は
どんなことをしていますか？

6時に帰宅、家族で夕食

同じ研究職の夫と料理を分担し、必ず家族全員でご飯を食べます。その後は音楽を聴いたり、録画した番組を見てリラックス！

休日は **PRIVATE**
農産物直売所へ



直売所に卸している「美食同玄米」を納品したりしています。本当に時間のある時は水泳に行って、運動する時間も作ります。

interview 17

リーゾ 門奈 理佐さんの 場合

神奈川県出身 / 2009年起業



取材終わりは、なんだかほっとひと安心おかげで、ちょっとくだけちゃいました！

オフショット ギャラリー

Offshot Gallery



会社の入り口で、まさかの社長とご対面！きょ、恐縮です。



わたしもこうう女性になりたいと…。年の重ね方が上手なひとになっていきたい。



新しいことを知って冒険したときの
高揚感と似ています。



食い入るように資料を拝見！
パワーポイントで大きな画面に圧倒。



interview 18

小山記念病院 小林 礼子さんの 場合

茨城県出身 / 2003年入社



Q 看護師を
目指したきっかけは？

身内のお見舞いで

甥が交通事故に遭ったときに働いている看護師を見て自分も助ける人になりたいと思いつきました。

Q 看護師の
醍醐味は？

やりがいだらけ

患者さんに「あなたに会えてよかった」「この病院に来てよかった」と言われたときに、やっていてよかったと思います。

Q 看護師の資格について
お聞きかせください

様々な分野があります

看護協会の認定看護師制度があり、厚生省認可の試験を受けます。その後は働きながら資格を取得しました。

Q 看護師になって苦労したことは？

学校と現場のギャップ

患者さんは急変もするし、日々変化します。教科書に書かれていることと現場とのギャップに、もどかしい気持ちがありました。

WORK

Q 一日の
過ごし方は？

仕事を中心

8時前に出勤し緩和ケアに介入する患者さんの情報収集、緩和ケアの医師と回診をして患者さんの状態を聞いています。

Q 仕事終わりの平日は
どんなことをして過ごしますか？

家事や趣味

家事をしてテレビを見たり本を読んだりしています。また、飼っている犬の散歩をしています。

Q 今と昔で働き方は
変わりましたか？

変化はあまりないです

『患者さんの話をしっかり聞くこと』『思いやりと優しさを持って接する』『自配り気配り心配り』は、今も昔も大切にしています。

休日は **PRIVATE**
ヨガ



ホットヨガを新しくはじめました！「暖かい」環境で、代謝が高まりカラダにプラスの影響を与えてくれます。



オフショット ギャラリー

Offshot Gallery



12月2日同事後研修で発表!
あれから、2ヶ月…なんだか早い。



一部取材に同行してくれた富山さんから
今回の企画を振り返る講演も。



そして、最後のワークショップ
社会人×学生で、意見を交換!



お互い本音とこれからの未来について
情報交換ができたのは新鮮でした。



最後にみんなで記念撮影!
本当に、本当に、お疲れさまでした!

WORK

Q この仕事を選んだ理由は何ですか。

結婚を期に

以前は保育士の仕事に従事。子どもと利用者さんとの接し方に通ずるところもあり、経験を生かすことができています。

Q 事務長としてのお仕事の内容を教えてください。

職員のサポート

利用者さんが最高の笑顔になるために日々励む職員の皆さんにも笑顔になってほしい、そんな思いで働いています。

Q 長く会社に勤めてきて変化は感じますか?

休暇の取得しやすさ

休暇のひとつに育休を取ることが当たり前になりました。みんなが助け合って、戻りやすい環境が作れていると思います。

Q 働く上での参考している人はいますか?

二代目理事長(義母)

創設者と一緒にこの法人を一から作り上げて、事務長として長年支えて来られた方なので、目標にしています。

LIFE

Q 平日の夜の過ごし方は?

娘3人の塾の送り迎え

3人とも学年が違うから塾の時間も違って、気づいたらずっと車のことも…。また家庭に仕事は持ち込みません。

Q 座右の銘は?

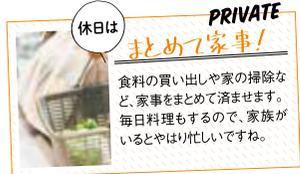
人生一度きり

そう思って地元静岡から茨城に来る決心をしましたし、この言葉があればなんでも頑張れる気がします。

Q 同じ社会を生きる女性たちへメッセージを!

前向きに生きよう!

結婚し、子どもを産んでも、子育て支援の整った環境なら、自分のキャリアを継続することは不可能ではありません。



休日は

PRIVATE

まとめて家事!

食料の買い出しや家の掃除など、家事をまとめて済ませます。毎日料理もするので、家族がいるとやはり忙しいですね。

interview 19

ピアしらとり

渡辺 朋美さん

の場合

静岡県出身/2000年入社



interview 20

関彰商事 鯉沼 美代子さん

の場合

茨城県出身/2004年入社



Q 仕事のやりがいは何ですか?

お客様の笑顔

納車時にお客様の笑顔が見られた時は嬉しく、やりがいを感じます。

Q これだけは譲れない!という「自分ルール」は何かありますか?

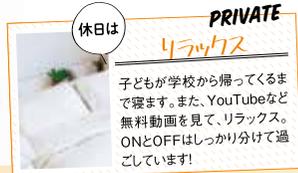
人に聞くのを恥ずかしがらないこと

わからないことを他の人に積極的に聞いています。どんな人からでも学ぶことがたくさんあります。

Q 今後の挑戦は?

接客を極める

お客様と一対一の仕事をして、今までよりもお客様と深く接していきます。また、人材育成のために、今まで経験してきたことを後輩へ伝えていきます。



休日は

PRIVATE

リラックス

子どもが学校から帰ってくるまで寝ます。また、YouTubeなど無料動画を見て、リラックス。ONとOFFはしっかり分けて過ごしています!

WORK

Q 生活の中でのこだわりを教えてください

車

自分好みにカスタマイズしたり、良い状態を維持するために、徹底したメンテナンスを行っています。

Q マイブームはありますか?

娘とピアノを弾くこと

娘とピアノの連弾をすることです。娘がピアノを習っているのでも、二人で一緒に弾く時間が楽しいです。

Q 最近、興味のあるものは?

ポケモンGO

この歳でポケモンなんて…と思っていたけど、今では子どもと一緒に楽しんでいます。

Q ストレスの発散方法は?

車の中で歌うこと

仕事終わりの車中で、大きな声で歌いながら帰ることです。一人カラオケをして、唯一のプライベート空間を満喫しています。

LIFE